

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局 障害福祉部 障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立引野ひまわり学園	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区鉄王一丁目 1 1 番 3 0 号		
	設置目的	障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、社会的自立生活へ向けての援助、学習の指導、健康管理その他の支援を行うことにより、障害児の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目 1 番 1 号		
指定管理業務の内容		障害児施設（児童発達支援センター）の管理運営。 施設の維持管理。		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点															
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		40															
(1) 施設の設置目的の達成		25	4	20															
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																			
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																			
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。																			
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達障害児や身体障害児など様々なニーズにあわせ、定員【50名】を超過して、障害児通所支援を行っている（国基準によると定員の125%までが、おおよその適正利用者数とされている。当該数値を超えない範囲での受け入れを行っており、アンケート結果及び事故報告書においても定員超過による影響は確認されない）。また、行事に保護者が参加しやすいように土曜日も開園するなど開園日数を増やしている。 保護者の負担を軽減するために、年末年始及び年度末年度初めの長期休暇を出来るだけ短くし、開園日を245日から250日へ増やした。 																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>障害児通所支援</th> <th>【参考】H22(更新前)</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>57名</td> <td>58名</td> <td>58名</td> <td>58名</td> </tr> </tbody> </table>					障害児通所支援	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25	定員	50名	50名	50名	50名	利用者数	57名	58名	58名	58名
障害児通所支援	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25															
定員	50名	50名	50名	50名															
利用者数	57名	58名	58名	58名															
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年10月より新規給付サービスとして、3ひまわり学園（到津・若松・引野）で保育所等訪問支援の指定を受けサービスを開始した。引野ひまわり学園では、最も多い84件の支援を行っている。 到津・若松・引野の3つのひまわり学園合同勉強会を実施し、待機児童や地域の保育所・幼稚園に通園している児童やその職員への説明会を行なうなど支援事業（地域支援の取り組み）を実施している。 外来相談、短時間通園、巡回相談では目標値を大幅に上回り、地域療育支援を行う役割を十分に果たしている。 																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>外来相談</th> <th>【参考】H22(更新前)</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>50件</td> <td>220件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>未実施</td> <td>245件</td> <td>312件</td> <td>342件</td> </tr> </tbody> </table>					外来相談	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25	目標値	—	50件	220件	50件	実績	未実施	245件	312件	342件
外来相談	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25															
目標値	—	50件	220件	50件															
実績	未実施	245件	312件	342件															

短時間通園	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
目標値	—	800件	1,000件	800件
実績	未実施	1,673件	2,573件	2,714件

巡回相談	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
目標値	—	40件	60件	40件
実績	未実施	75件	119件	80件

- ・ また、平成24年度の交流保育については、他のひまわり学園の中で最も多い16回行っており、地域支援に力を入れている。
- ・ 発達障害児への療育手法について、新たにコミュニケーション支援への取組み、また、ミュージックケア、総合療育センターとの協働など通園事業において様々な工夫を行っている。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	25	4	20
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。			
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・ アンケート調査の結果、施設、職員の対応等について、「とてもよい」「よい」を合わせた評価は、全ての要素で89%から99%、平均で95%であり、総合的に利用者の満足度は非常に高いものとなっている。同時期に園独自のアンケートを行ったこと、25年度アンケートから項目を変更した等により、回収が進まなかった点は改善すべきである。独自アンケートの結果を受け、要望のあった兄弟児の参観について、当園の利用児の支障ない範囲で参加させるなどの対応を行った。

	【参考】H22 (更新前)	H23	H24	H25
目標値	90%以上			
満足度平均	92%	96%	93%	95%
スタッフ接遇	92%	99%	97%	94%
情報提供	83%	95%	95%	95%
サービス内容	95%	94%	96%	98%
施設関係	89%	95%	93%	89%
緊急時	100%	93%	96%	99%

- ・ 日常でのやりとり連絡帳の活用、意見箱の設置、家庭訪問や懇談会を実施している。特に家族支援が必要なケースについては、総合療育センターの専門家によるリハビリや子ども総合センターによる施設措置といった、他の機関との連携を図ることとし、サービス向上を努めている。また、年度末に事業所が実施したアンケートでは 93% の満足度を得た。
- ・ ボランティア受入れマニュアルを作成し、除草作業などによりサービス向上へとつながっている。
- ・ 月一回のクラスやグループのお知らせ、健康に関するおたより、3 箇所を設置した掲示板等により、家族に日々の子どもの状況の状況を伝えている。
- ・ 苦情については、意見箱を設置しているが苦情は無かった。一方で利用者外から苦情があり、相手には理解をいただき、内部に対しては再発防止として注意を促した。

2 効率性の向上等に関する取組み	15		9
(1) 経費の低減等	15	3	9
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。			
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗い場には節水協力の張り紙を掲示し、職員の節水意識を高めた。 ・ 電灯の点灯時間を業務開始時、冷暖房の運転開始を利用者の利用時間にするなど節電を行っている。 ・ 障害により体温調節が困難な児童等を処遇しながらも、適切な消費電力を維持している。 			

年度	【参考】H22 (更新前)	H23	H24	H25
消費電力実績	26,974kwh	24,926kwh	25,601kwh	27,314kwh
水道光熱費実績	1,647 千円	1,656 千円	1,699 千円	1,814 千円
<ul style="list-style-type: none"> 清掃、設備保守点検については再委託を行っており、業務は適切に行われている。事業計画に則り、施設の管理運営を適切に行っている。 				
(2) 収入の増加				
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。		—	—	—
【評価の理由、要因・原因分析】 提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み			3 5	2 1
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況				
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。		1 5	3	9
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。				
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。				
【評価の理由、要因・原因分析】 <ul style="list-style-type: none"> 人員配置については指定基準に応じた人員が配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。 職場内研修として新人研修、基礎研修、専門研修を実施し、職員の資質能力向上を図る取り組みがなされている。 平成 25 年度は、新人職員の増加により新人・中堅職員に対する研修を計 16 回実施し、若手職員の育成に力を入れている。 永犬丸保育所との交流保育実施（16 回）、引野まちづくり協議会主催事業への参加、引野市民センター祭りへの協力を行う等、地域との交流を図っている。 地域の保育所・幼稚園職員を対象に、子どもへの対応に関して地域職員勉強会を開催している。（平成 25 年度は 2 回） 				

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。	20	3	12
② 施設の利用者に対する身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「事業団個人情報規定」「個人情報保護指針」に基づき管理徹底を行っている。 ・ 人権研修を開催し、人権の尊重、身体拘束及び虐待の防止を徹底している。 ・ また、連絡帳や持ち物、服装、身体のおだの有无などを日々確認し、虐待の早期発見に努めている。 ・ 安全点検を定期的実施、「ひやりはっと」を毎日朝礼で報告、手洗い・消毒の励行などにより日常の事故防止や安全対策などの取組みを実施している。 ・ 老朽化した施設一部を修復し、事故予防に努めた。 ・ 施設と事務局の緊急連絡網の整備、災害時の職員配備の策定を行い、様々な事態を想定した避難訓練を実施し、危機管理体制をとっている。 			

【総合評価】

合計得点	70	評価ランク	B
<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画に沿って、施設の適切な運営管理を行っており、利用実績も順調に伸びている上、利用者の満足度も高いものとなっている。 ・ また、利用者へのサービスの質の維持・向上に努めるだけでなく、保護者の障害児特性への理解促進や食育への関心向上の取組みを行う等、家族支援を積極的に行っている。 ・ 若手職員の育成にも積極的に取り組み、早い段階から質の高い療育支援を継続させるよう取り組んでいる。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、施設の管理運営を適切に行い、利用者へのサービス向上に努めるとともに、関係機関との積極的な交流活動により、障害児支援の地域拠点としての役割を果たすことを期待する。 			

[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

外来相談、短時間通園、巡回相談は、目標を上回っており、家族支援が必要なケースでは、他の機関との連携を図り、サービスの向上に努めている。結果として、高い利用者満足度を得ていることは評価できる。

今後も、施設の設置目的達成に向けた、レベルの高い管理運営の継続と、更に施設の魅力を向上させる取組みを期待したい。

【評価レベル】

評価レベル	乗率		評価レベルの考え方
5	100%	良	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- S：総合評価の結果、特に優れていると認められる
(合計得点が90点以上)
- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上90点未満)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)